



## 平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月13日

上場会社名 株式会社 サカタのタネ

上場取引所 東

コード番号 1377 URL <http://www.sakataseed.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 宇治田 明史 TEL 045-945-8800

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日 配当支払開始予定日 平成24年2月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	21,412	△1.1	1,592	5.7	1,642	8.4	755	△3.9
23年5月期第2四半期	21,650	△0.5	1,506	114.8	1,514	90.3	786	44.0

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 △1,427百万円 (—%) 23年5月期第2四半期 △845百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	16.79	—
23年5月期第2四半期	17.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	80,503	69,441	86.1
23年5月期	83,332	71,321	85.5

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 69,335百万円 23年5月期 71,223百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年5月期	—	10.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△2.5	2,100	△35.1	2,200	△35.5	1,000	△24.2	22.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期2Q	48,410,750 株	23年5月期	48,410,750 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	3,401,699 株	23年5月期	3,401,255 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期2Q	45,009,283 株	23年5月期2Q	45,926,316 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に関する四半期レビュー手続を実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果になる可能性があります。業績予想に関連する事項については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
24年5月期第2四半期	21,412	1,592	1,642	755	16.79
23年5月期第2四半期	21,650	1,506	1,514	786	17.12
増減率	△1.1%	5.7%	8.4%	△3.9%	—

当第2四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成23年11月30日まで）における世界経済を見ますと、欧州債務危機が深刻化し、国際金融資本市場や各国の実体経済にも徐々に影響が出始めています。米国においても、雇用環境の悪化や、住宅価格の下落、欧州問題を受けた市場不安などが足かせとなり、景気回復は低調です。新興国では、中国が引き続き高い成長率を維持していますが、海外経済停滞の影響から成長鈍化の兆しも見えております。

わが国経済は、東日本大震災により大きく落ち込みましたが、その後は着実な回復を見せております。しかしながら、海外経済の減速および歴史的な円高による輸出増勢鈍化、またタイの洪水による日本経済への影響が懸念されるなど、先行きの不透明感が高まっております。

当種苗業界は、国内需要は横ばいの状態ですが、海外におきましては、新興国を中心に、野菜種子、花種子の需要は拡大を続けております。東日本大震災後、農業・園芸は盛り上がりならず、個人消費も低迷した結果、当社におきましても、国内事業は全般的に低調に推移しました。海外卸売事業でも、花種子につきましては、ヒマワリ、アスター、ダイアンサスなどは堅調に推移したものの、欧州においてトルコギキョウ、パンジーが苦戦し、減収となりました。一方、野菜種子ではブロッコリー、カリフラワー、カボチャ、ホウレンソウなどの戦略商品が順調に売上を伸ばしております。

こうした状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は214億12百万円（前年同期比2億37百万円、1.1%減）となりましたが、営業利益は、販売費及び一般管理費の減少により、15億92百万円（前年同期比85百万円、5.7%増）と増益となりました。また、前年同期に比べ為替差損および投資有価証券評価損の計上金額が減少したことなどにより、経常利益は16億42百万円（前年同期比1億27百万円、8.4%増）、税金等調整前四半期純利益は13億19百万円（前年同期比5億19百万円、64.9%増）となりました。四半期純利益は税金費用が前年同期に比べ増加したことなどから、7億55百万円（前年同期比30百万円、3.9%減）と減益となりました。

当第2四半期連結累計期間の海外連結子会社等の財務諸表（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。なお、第1四半期の連結対象期間は4-6月、第2四半期の連結対象期間は7-9月です。

	第1四半期	第2四半期
米ドル	80.73円 (88.51円)	76.63円 (83.82円)
ユーロ	116.79円 (107.79円)	104.04円 (114.21円)

注：（ ）内は前年同期の換算レート

セグメント別の業績は次のとおりです。

## ① 国内卸売事業

国内卸売事業は、野菜種子が伸び悩みましたが、花種子の売上は前年同期並みとなり、資材は好調に推移しました。野菜種子は、震災の影響が予想以上に大きく苦戦しましたが、花種子はパンジー、あさがお、ストック、ヒマワリなどが好調で、資材ではビニール製品、ネット類などが大きく売上を伸ばしました。

これらの結果、売上高は、前年同期比48百万円（同0.6%）減の76億87百万円となり、営業利益は同比28百万円（同0.9%）減の32億24百万円と減収減益となりました。

## ② 海外卸売事業

花種子は、欧州においてパンジー、トルコギキョウ、プリムラが伸び悩んだことなどにより、前年同期比減収となりました。野菜種子につきましては、アジア向け輸出が、前期の大幅増加の反動で減少となったものの、北米、欧州、南米において売上が拡大したことから、前年同期比増収となりました。品目別では、ニンジンが減少しましたが、ブロッコリー、カリフラワー、カボチャ、ホウレンソウなどが好調に推移しました。

これらの結果、売上高は、前年同期比1億11百万円(同1.3%)減の84億46百万円、営業利益は同比1億8百万円(同5.7%)減の18億3百万円と減収減益となりました。

## ③ 小売事業

ホームガーデン分野は、農業資材、種ジャガイモ、草花苗などのほか、特に節電に貢献する緑のカーテン関連の苗の売上が伸びましたが、東日本エリアでの一般の家庭菜園向け野菜苗、園芸資材などが大きく落ち込んだ結果、前年同期比減収となりました。通信販売分野は一般花苗が伸びたものの、春植球根、花木苗、農園芸資材が低調に推移し、売上高は減収となりました。ガーデンセンターは花種子の売上が増加したこともあり、前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比1億6百万円(同2.0%)減の51億4百万円となり、営業損益は78百万円改善し、3億19百万円の損失(前年同期は3億98百万円の営業損失)を計上しました。

## ④ その他事業

造園分野は、大口の屋上壁面緑化工事が完工となり、前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比28百万円(同比19.4%)増の1億74百万円となりましたが、営業損益は営業費用が35百万円増加したため、23百万円の損失(前年同期は10百万円の営業損失)を計上しました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減
総資産(百万円)	83,332	80,503	△2,828
純資産(百万円)	71,321	69,441	△1,880
自己資本比率	85.5%	86.1%	0.6%
1株当たり純資産(円)	1,582.42	1,540.48	△41.93
借入金の残高(百万円)	1,888	1,681	△207

## ① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ28億28百万円減少し、805億3百万円となりました。これは主に現金及び預金が16億86百万円増加し、受取手形及び売掛金が26億42百万円、たな卸資産が4億5百万円、建物及び構築物が4億30百万円、投資有価証券が3億8百万円減少したことなどによるものです。

## ② 負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億48百万円減少し、110億62百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が6億19百万円、長期借入金が7億64百万円減少し、短期借入金が増加したことなどによるものです。

## ③ 純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ18億80百万円減少し、694億41百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億5百万円増加し、為替換算調整勘定が20億37百万円減少したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の85.5%から86.1%となりました。

## (連結キャッシュ・フローの状況)

	第2四半期累計期間		増減 (百万円)
	23年5月期 (百万円)	24年5月期 (百万円)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,131	3,314	183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△435	△744	△309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△550	△555	△4

## 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ16億97百万円増加し（前第2四半期末に比べ12百万円減少）、89億97百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は33億14百万円（前年同期比1億83百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益13億19百万円、減価償却費7億49百万円、売上債権の減少による資金の増加22億3百万円、たな卸資産の増加による資金の減少6億89百万円、法人税等の支払による資金の減少4億97百万円などです。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用した資金は7億44百万円（前年同期比3億9百万円増）となりました。これは主に、定期預金の純増による支出1億7百万円、有形固定資産の取得による支出6億44百万円、投資有価証券の取得による支出1億51百万円、投資有価証券の売却による収入1億33百万円などです。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用した資金は5億55百万円（前年同期比4百万円増）となりました。これは主に、短期借入金の純減による支出1億75百万円、長期借入れによる収入1億15百万円、配当金の支払額4億49百万円などです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

直近の業績の進捗を踏まえ、通期の業績予想の見直しを行った結果、平成23年7月15日に公表しました平成24年5月期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

当社及び主たる国内連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当社及び主たる国内連結子会社の法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,232	14,918
受取手形及び売掛金	12,675	10,032
有価証券	30	—
商品及び製品	15,220	15,083
仕掛品	1,203	902
原材料及び貯蔵品	1,818	1,725
未成工事支出金	49	175
繰延税金資産	1,092	1,073
その他	2,390	1,945
貸倒引当金	△296	△238
流動資産合計	47,416	45,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,077	25,530
減価償却累計額	△15,964	△15,847
建物及び構築物(純額)	10,112	9,682
機械装置及び運搬具	8,583	8,334
減価償却累計額	△6,988	△6,837
機械装置及び運搬具(純額)	1,594	1,496
土地	13,874	13,743
建設仮勘定	366	406
その他	2,396	2,343
減価償却累計額	△1,954	△1,905
その他(純額)	442	438
有形固定資産合計	26,390	25,767
無形固定資産		
投資その他の資産	725	631
投資有価証券	7,764	7,456
長期貸付金	238	189
繰延税金資産	423	478
その他	587	558
貸倒引当金	△215	△196
投資その他の資産合計	8,799	8,486
固定資産合計	35,915	34,885
資産合計	83,332	80,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,936	2,316
短期借入金	989	1,547
未払法人税等	564	616
繰延税金負債	50	31
役員賞与引当金	10	—
その他	3,619	3,616
流動負債合計	8,170	8,128
固定負債		
長期借入金	898	133
繰延税金負債	200	183
退職給付引当金	1,441	1,433
役員退職慰労引当金	323	346
負ののれん	4	3
その他	971	833
固定負債合計	3,840	2,934
負債合計	12,010	11,062
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,500	13,500
資本剰余金	10,823	10,823
利益剰余金	55,637	55,942
自己株式	△4,466	△4,466
株主資本合計	75,494	75,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	△84
為替換算調整勘定	△4,341	△6,378
その他の包括利益累計額合計	△4,270	△6,463
少数株主持分	97	105
純資産合計	71,321	69,441
負債純資産合計	83,332	80,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	21,650	21,412
売上原価	10,170	10,297
売上総利益	11,479	11,114
販売費及び一般管理費	9,972	9,522
営業利益	1,506	1,592
営業外収益		
受取利息	61	62
受取配当金	160	148
受取賃貸料	88	108
負ののれん償却額	0	0
その他	50	33
営業外収益合計	363	353
営業外費用		
支払利息	44	30
為替差損	284	251
その他	25	21
営業外費用合計	355	302
経常利益	1,514	1,642
特別利益		
固定資産売却益	7	7
投資有価証券売却益	28	—
投資有価証券償還益	82	—
その他	10	—
特別利益合計	129	7
特別損失		
減損損失	2	91
投資有価証券評価損	770	228
その他	71	10
特別損失合計	844	330
税金等調整前四半期純利益	800	1,319
法人税、住民税及び事業税	300	564
法人税等調整額	△295	△9
法人税等合計	5	554
少数株主損益調整前四半期純利益	794	764
少数株主利益	8	9
四半期純利益	786	755

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	794	764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△305	△156
為替換算調整勘定	△1,335	△2,036
その他の包括利益合計	△1,640	△2,192
四半期包括利益	△845	△1,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△853	△1,437
少数株主に係る四半期包括利益	7	9

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	800	1,319
減価償却費	925	749
負ののれん償却額	△0	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	102
受取利息及び受取配当金	△222	△210
支払利息	44	30
為替差損益(△は益)	36	22
減損損失	2	91
投資有価証券売却損益(△は益)	△28	—
投資有価証券評価損益(△は益)	770	228
投資有価証券償還損益(△は益)	△82	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,316	2,203
たな卸資産の増減額(△は増加)	△982	△689
仕入債務の増減額(△は減少)	△100	△293
未払金の増減額(△は減少)	△875	△370
その他	450	442
小計	3,061	3,625
利息及び配当金の受取額	217	199
利息の支払額	△44	△33
法人税等の還付額	137	21
法人税等の支払額	△240	△497
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,131	3,314
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△950	△432
定期預金の払戻による収入	536	325
有形固定資産の取得による支出	△828	△644
有形固定資産の売却による収入	241	30
無形固定資産の取得による支出	△24	△79
有価証券の償還による収入	300	30
投資有価証券の取得による支出	△5	△151
投資有価証券の売却による収入	72	133
投資有価証券の償還による収入	200	—
その他	21	43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△435	△744
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△48	△175
長期借入れによる収入	—	115
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△462	△449
その他	△38	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△550	△555
現金及び現金同等物に係る換算差額	△228	△317
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,916	1,697
現金及び現金同等物の期首残高	7,093	7,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,010	8,997

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,735	8,858	5,210	21,504	145	21,650	—	21,650
セグメント間の内部売上高又は振替高	217	520	0	738	68	807	△807	—
計	7,952	9,078	5,211	22,242	214	22,457	△807	21,650
セグメント利益または損失(△)	3,252	1,912	△398	4,767	△10	4,756	△3,250	1,506

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、保険代理店業務、人材派遣業であります。
2. セグメント利益または損失(△)の調整額△3,250百万円は、セグメント間取引消去10百万円、棚卸資産の調整額31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,292百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。
3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,687	8,446	5,104	21,238	174	21,412	—	21,412
セグメント間の内部売上高又は振替高	246	416	0	663	62	725	△725	—
計	7,933	8,862	5,104	21,901	236	22,138	△725	21,412
セグメント利益または損失(△)	3,224	1,803	△319	4,708	△23	4,685	△3,092	1,592

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、保険代理店業務、人材派遣業であります。
2. セグメント利益または損失(△)の調整額△3,092百万円は、セグメント間取引消去33百万円、棚卸資産の調整額41百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,168百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。
3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。